

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 180-8580
 住 所 東京都武蔵野市西久保1-25-8
 氏 名 株式会社 すかいらーくホールディングス
 代表取締役
 谷 真

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 すかいらーくホールディングス		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市宮前区菅生5丁目2番18号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	M	宿泊業、飲食サービス業
	中分類	76	飲食業
主たる事業 の内容	レストランチェーンの運営		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	4,260	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

(第2面)

計画期間及び報告年度	28年度 ~30年度 (報告年度平成30年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況(第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況(排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 8,808 (調) 8,698 t-CO ₂	(実) 8,656 (調) 8,545 t-CO ₂	(実) 8,865 (調) 8,749 t-CO ₂	(実) 8,479 (調) 8,369 t-CO ₂	(実) 8,543 t-CO ₂
削減率		(実) 1.7 % (調) 1.8 %	(実) -0.6 % (調) -0.6 %	(実) 3.7 % (調) 3.8 %	(実) 3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	昨年に続き、『ブランドメンテナンス』という活動を展開。毎月点検清掃項目を決め、空調、冷蔵庫、冷凍庫、製氷器、洗浄器等のメンテナンスを行った。空調、調理機器等の運用についてもルールを再確認し、さらなる省エネに取り組んだ。結果、温室ガス排出量は基準年度比1.7%の削減となった。
第2年度	昨年に続き、『ブランドメンテナンス』の活動を展開。毎月点検清掃項目を決め、空調、冷蔵庫、冷凍庫、製氷器、洗浄器等のメンテナンスを行った。空調、調理機器等の運用についてもルールを再確認し、更なる省エネに取り組んだ。店舗数が2増加の為、温室ガス排出量は基準年度比0.58%の微増となった。
第3年度	昨年に続き、『ブランドメンテナンス』の活動を展開。毎月点検清掃項目を決め、空調、冷蔵庫、冷凍庫、製氷器、洗浄器等のメンテナンスを行った。空調、調理機器等の運用についてもルールを再確認し、更なる省エネに取り組んだ。店舗数が2増加の為、温室ガス排出量は基準年度比0.58%の微増となった。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況(全社目標)

なし

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	1. 予防メンテナンスの実施 空調機、冷蔵・冷凍庫、調理機器等の点検清掃を毎月項目を決め実施する。 2. エアコンの計画的入れ替え 経年数の長いものから、高効率の機器に入れ替えを行う。 3. エネルギー使用の把握 主要ブランドのエネルギー計測を行い、使用量を把握する。
	第1年度	1. 予防メンテナンスの実施 空調機、冷蔵・冷凍庫、調理機器等の点検清掃を毎月項目を決め実施した。 2. エアコンの計画的入れ替え 経年数の長いものから、高効率の機器に入れ替えを行った。 7店舗実施。 3. エネルギー使用の把握 ガストブランドのエネルギー計測を行った。今後の省エネ対策の参考データとする。
	第2年度	1. 予防メンテナンスの実施 空調機、冷蔵・冷凍庫、調理機器等の点検清掃を毎月項目を決め実施した。 2. エアコンの計画的入れ替え 経年数の長いものから、高効率の機器に入れ替えを行った。 12店舗実施。 3. エネルギー効率の向上 2018年1月から電力事業者の大幅な変更を順次行った。今年度の排出状況に注視し、削減に繋がるよう検証していく。
	第3年度	1. 予防メンテナンスの実施 空調機、冷蔵・冷凍庫、調理機器等の点検清掃を毎月項目を決め実施した。 2. エアコンの計画的入れ替え 経年数の長いものから、高効率の機器に入れ替えを行った。 12店舗実施。 3. エネルギー効率の向上 2018年1月から電力事業者の大幅な変更を順次行った。今年度の排出状況に注視し、削減に繋がるよう検証していく。
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績 (排出係数反映)

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	8,124	t-CO ₂
(調)	8,075	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等单位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k _l 未満	
300~400k _l 未満	
200~300k _l 未満	
100~200k _l 未満	
100k _l 未満	

(3) 事業所等单位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--